

図書館

今月のおすすめ本

テーマ「馬」



1 イラストでわかる日本の甲冑

渡辺信吾／著

古代から戦国までの甲冑、鎧、武器や馬具を図解で徹底的に解説。

2 ウマと話すための7つのひみつ

河田 棧／文・絵

馬は体の動きで気持ちを伝えてくれる。馬語の秘密が分かる一冊です。

3 乗馬初心者さんのためのこんなときどうしたら？Q&A

シャムロック乗馬クラブ／著

馬の特徴や接し方、乗り方まで、乗馬に関する基本が分かる一冊です。

4 この世でいちばんすばらしい馬

チェン・ジャンホン／作・絵
平岡 敦／訳

宮廷の絵師となった青年とその絵から生まれた馬の心にしみる物語。

お知らせ

昇吉師匠の「家族で楽しむこども寄席」

春風亭昇吉師匠による子どもも大人も楽しめる落語の講演会です。家族での参加をお待ちしています。

- と き** 2月1日(日)
[開場] 午後1時 [開演] 午後1時30分
- ところ** 中央図書館 ステップ **入場料** 無料
- 対 象** 中学生以下の児童・保護者 30人程度 (要申し込み)

中央図書館 ☎0968(25)1111
七城図書館 ☎0968(25)1580
旭志図書館 ☎0968(25)3332
泗水図書館 ☎0968(25)1115

休館日

月曜日

※七城・旭志は日も休館

公民館

公民館主催講座(市民大学)の館外研修を紹介します！

●旭志わくわく大学(10月22日、旭志公民館)

御船町で、ロマンと芸術に満ちた研修を実施しました。恐竜博物館で40億年の生命の旅に触れ、白壁の古建築「御船街なかギャラリー」を見学。平成音楽大学で学食ランチと学生の生演奏を楽しみ、校舎見学も行い、有意義な一日となりました。



●七城楽しく学ぶ大学(11月12日、七城公民館)

受講生56人で館外研修を実施しました。戦後80年の節目として「平和の尊さ」をテーマに、大刀洗平和記念館や大刀洗公園、高良大社を訪問。語り部から大刀洗飛行場や大空襲の事実を聞き、戦争の悲惨さと平和の大切さを改めて学びました。



●ふるさと生き活き大学(11月19日、泗水公民館)

山鹿市で八千代座と鞠智城の研修を実施。八千代座ではガイドから、江戸時代から伝わる芝居小屋のさまざまな仕掛けや歴史について説明を受けました。

鞠智城でもガイドからの説明があり、新たな見聞を広げることができ、皆さん満足の一日でした。

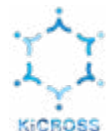


●菊池さわやか大学(11月20日、中央公民館)

小国町に出向き、北里柴三郎記念館や下城の大イチョウを巡りました。爽やかな秋空の下、参加者の皆さんは歴史と自然に触れながら、笑顔あふれるひとときを過ごしました。



中央公民館 ☎0968(25)1672
七城公民館 ☎0968(25)1580
旭志公民館 ☎0968(25)3332
泗水公民館 ☎0968(25)2028



ホームページ



撮影：広報

「短歌の部」優良賞
通学路みみをすませばとりの声ここちよい声ここちよい朝
岡村璃音(旭志中2年)

「俳句の部」優良賞
うみたまこかわいいるかたのしいな
葉桜のすき間に見える青き空
顔をあげ心と瞳に火花咲く
岩永 歩(旭志小2年)
深田恋乃花(隈府小6年)
清水結愛(泗水中3年)

第21代菊池重朝公が行ったとされる「菊池万句」にちなみ、市教育委員会が県内や姉妹・友好都市の小中学校から俳句や短歌を毎年募集しています。令和6年度の入選作品の一部を紹介します。
※学年は当時

万句のふるさと菊池(令和6年度)

湧き水や水草紅葉色神秘
来客を送りて夕べそぞろ寒
名月や足の痛みも癒されて
友垣の米寿を祝う秋日和
初薫を縫りて縄にし神行事
水 上 玲子
森 容子
芹 川 蓉子
中尾 ヨシコ
稗 田 達恵

旭志文芸教室俳句の会 11月詠草

城垣を押し上げてゐる草紅葉
晴れ着きて姉さん気取り七五三
椿の実夜の静寂に音一つ
日に風に色の仕上がる吊し柿
賑やかに親子連れ添ひ鴨来たる
川 口 二子
加 藤 妙子
赤 星 智恵子
中 路 郁子
宮 本 敏子

万句の里俳句会 11月句会

菊池短歌会 11月詠草

花房の坂より望む菊池景空・山・川・人ただ清らかに
窓外は日本晴れなりたつぷりと日差し部屋までさわやかな日々
菊池郷幾多の鳥の飛び立てり綴れ織りがに霜月の空
さがぐくに牛蒡一本この汁のかなめとなりて秋の更け行く
もも色の夕陽におされ長い影吾と愛犬との今年はふたつ
原 川 初江
田 中 遥子
立 山 浩美
宮 本 淑子
江 頭 桂子

「里」短歌会 11月詠草

追遙とのんしやらんとして残生を生きて行こうか玄冬の老春
天空の遊びのやうにひつじ雲はろばろとして県を覆ふ
石道にスズランの木の枯れ葉落つ踏まば懐かしき音を聞かせむ
ちり残るさくら紅葉の夕映えを黄色い帽子のふたつが帰る
マイナンバーカード握りて九十路近き母が言う「もう分からんばい」
佐々 重弘
井 藤 和俊
渡 辺 光夫
故 緒 方 正俊

七城短歌会 11月詠草

追遙とのんしやらんとして残生を生きて行こうか玄冬の老春
天空の遊びのやうにひつじ雲はろばろとして県を覆ふ
石道にスズランの木の枯れ葉落つ踏まば懐かしき音を聞かせむ
ちり残るさくら紅葉の夕映えを黄色い帽子のふたつが帰る
マイナンバーカード握りて九十路近き母が言う「もう分からんばい」
中 川 愛子
怒留湯 健蓉
山 田 博
安 藤 則子
小 堀 久男

入会希望など詳しくは、それぞれの句会や歌会にお尋ねください。

「里」短歌会 木原 ☎0968(24)0776
菊池短歌会 安藤 ☎0968(25)4285
七城短歌会 佐々 ☎0968(24)3761

万句の里俳句会 井芹 ☎090(1342)2151
旭志文芸教室俳句の会 中尾 ☎0968(37)2578